

4	骨粗しょう症検診
---	----------

1. 実施状況

15団体から検診の委託を受け220人（男性36人、女性184人）を実施した。

2. 検診方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨を測定。

3. 判定基準

検査項目	性別	異常認めず	要指導	要精検
超音波測定法 ($\times 10^{-6}$)	男	2.630以上	2.351~2.629	2.351未満
	女	2.428以上	2.158~2.427	2.158未満

4. 事後指導

保健師により、骨粗しょう症予防の為の適切な食習慣や運動習慣に関する個別指導を実施。

表1 骨粗しょう症検診における性・年齢階級別実施状況

年齢区分	性別	受診者数	異常認めず		要指導		要精検	
			人	%	人	%	人	%
19歳以下	男	0	—	—	—	—	—	—
	女	0	—	—	—	—	—	—
20~24歳	男	1	0	0.0	1	100.0	0	0.0
	女	5	4	80.0	1	20.0	0	0.0
25~29歳	男	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0
	女	11	10	90.9	1	9.1	0	0.0
30~34歳	男	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0
	女	23	19	82.6	4	17.4	0	0.0
35~39歳	男	3	1	33.3	2	66.7	0	0.0
	女	19	15	78.9	3	15.8	1	5.3
40~44歳	男	3	2	66.7	0	0.0	1	33.3
	女	28	23	82.1	5	17.9	0	0.0
45~49歳	男	5	2	40.0	1	20.0	2	40.0
	女	24	19	79.2	4	16.7	1	4.2
50~54歳	男	5	1	20.0	1	20.0	3	60.0
	女	26	16	61.5	7	26.9	3	11.5
55~59歳	男	9	3	33.3	3	33.3	3	33.3
	女	31	12	38.7	12	38.7	7	22.6
60歳以上	男	4	1	25.0	2	50.0	1	25.0
	女	17	5	29.4	10	58.8	2	11.8
総数	男	36	16	44.4	10	27.8	10	27.8
	女	184	123	66.8	47	25.5	14	7.6
	計	220	139	63.2	57	25.9	24	10.9